

2023年1月24日  
 損害保険ジャパン株式会社  
 SOMPOリスクマネジメント株式会社

## 「SOMPO SUSTAINA」の提供開始 ～金融機関等のパートナーとの連携による企業の気候変動対応等の課題解決支援～

損害保険ジャパン株式会社（取締役社長：白川 儀一、以下「損保ジャパン」）とSOMPOリスクマネジメント株式会社（取締役社長：桜井 淳一、以下「SOMPOリスク」）は、企業の気候変動対応等の課題解決を支援することを目的としたサービス「SOMPO SUSTAINA（ソンプサステナ）」の提供を2023年1月から開始します。

本サービスは、SOMPOグループがこれまで保険事業等により培ってきた、気候変動への対応、自然災害に対するレジリエンス向上等の企業の課題・リスクに対処するための知見を、他の金融機関等の連携パートナーと協働して、中小企業等の企業に提供するものです。本サービスの提供を通じて、企業が持続的に成長していくためのさまざまな課題解決および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

### 1. 背景

地球温暖化による気候変動は、海面の上昇や大雨等の自然災害の増加・激甚化等を進行させ、人間の生活や自然の生態系にさまざまな影響を与えており、カーボンニュートラルの実現に向けた取組みの加速は、世界中で共通する喫緊の課題となっています。世界各国で企業や産業の脱炭素化の推進およびその流れの下での産業競争力強化に向けた取組みが進む中、日本においても、2050年におけるカーボンニュートラルの実現に向けてさまざまな取組みが進められており、気候変動を緩和するための技術革新、消費者や投資家の価値観の変化が生じつつあります。このような変化に対して、全ての企業は持続的に事業を成長させていくための対応が求められており、特に損保ジャパンを含む金融機関に対しては、顧客企業の気候変動対応等の課題解決に対する取組みを支援し、持続可能な社会の実現に向けた貢献が期待されています。

こうした背景をうけ、損保ジャパンは、他の金融機関とそれぞれの強みを生かしながら協働し、企業の気候変動への対応等の課題解決を支援していくためのサービス「SOMPO SUSTAINA（ソンプサステナ）」の提供を開始します。

### 2. 「SOMPO SUSTAINA」の概要

「SOMPO SUSTAINA」は、金融機関に対して以下のサービスをWEBサービスとして提供し、金融機関は、本サービスを顧客企業の課題解決支援に活用します。

機能	概要
気候変動物理的リスク可視化	顧客企業の担保物件等の物件情報から、複数の気候変動シナリオに応じた物理的リスクの評価を行います。TCFD開示のための基礎情報としての活用、顧客企業への情報提供への活用等を想定しています。
地震リスク可視化	顧客企業の担保物件等の物件情報から、地震リスクの評価を行います。顧客企業の災害レジリエンス向上、事業継続向上のための支援への活用等を想定しています。
気候変動対応・災害レジリエンス向上レポート作成	顧客企業へのリスク情報および対策に関する情報を記載したレポートを作成します。顧客企業へ提供し、課題解決を支援することを想定しています。

※ 上記機能に限らず、企業の持続的成長のための課題解決、持続的社会的実現のための機能を順次追加していく予定です。

### 3. 今後について

損保ジャパンおよびSOMPOリスクは、「“安心・安全・健康のテーマパーク”により、あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会を実現する」というSOMPOのパーパス実現に向けて、ブランドスローガン「Innovation for Wellbeing」を具現化する取組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

以上